

(様式 1-3)

福島県(田村市)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成29年5月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	27	事業名	古道体育館耐震化促進事業	事業番号	(1)-15-2
交付団体	田村市		事業実施主体(直接/間接)	直接	
総交付対象事業費	171,125(千円)		全体事業費	171,125(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
田村市都路町における都路町民対象の各種大会の開催、レクリエーションやスポーツ振興の拠点として、その中心的な施設である古道体育館の耐震化を促進し、地区住民のスポーツ交流、各種文化行事の開催の場として、安心安全な施設の確保に努め、住民の帰還促進を図る。					
事業概要					
都路町住民の帰還を促進するため、住民の生活環境として不可欠な古道体育館(建築年月日:昭和51年12月12日、面積:1250.4㎡)の耐震化を促進するため、平成26年度に行った耐震診断で、耐震性能Dランクとなり、耐震改修が必要となったため、耐震改修工事を行う。 ※「田村市震災等復興ビジョン」(平成24年3月策定)のV.1.(6)教育環境の現状回復において、田村市再生のために教育施設の耐震化等を進めることとしている。					
当面の事業概要					
＜平成29年度＞ ・古道体育館 耐震化工事 ・古道体育館 耐震化工事監理業務委託					
地域の帰還環境整備との関係					
避難指示解除準備区域および緊急時避難準備区域における避難指示解除後についても、住民が安心して帰還するためには今後の地区住民の災害時の避難施設として、本施設の耐震化を行い整備することで、帰還の促進を図ることとしたい。また、都路住民の多くが未だ帰還していない状況で、体育祭や行政区対抗スポーツ大会等住民が一堂に会する機会に支障をきたしているほか、古道体育館を拠点として活動していたスポーツ少年団もその存続が危ぶまれている。そのため、古道体育館の耐震化を進めることで、各種スポーツ事業を通じた住民の結束力強化が期待でき、スポーツ少年団に加盟している児童生徒の家庭の帰還の促進にもつながることができる。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	